

新学習指導要領に基づく 中学校公民的分野における経済の考え方・教え方

岐阜大学教育学部
大杉 昭英

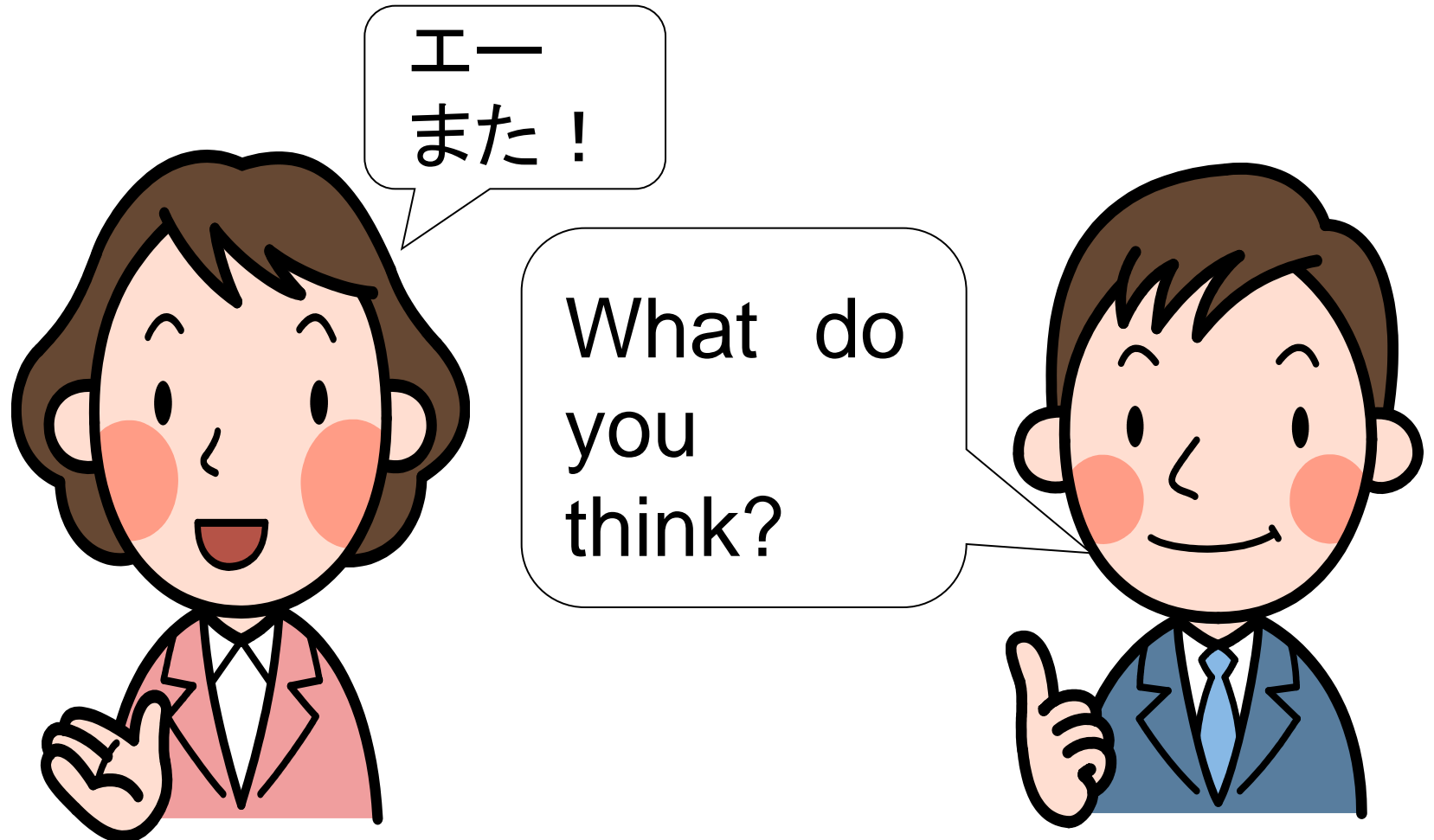
はじめに

- 1 新教育課程で育てようとする学力
 - (1) 知識基盤社会と国際標準の学力
 - (2) 新教育課程で明確化された学力観
- 2 中学校社会科公民的分野
 - (1) 内容構成
 - (2) 社会を読み解く基本概念
 - ・ 対立と合意の具体例を考える
 - ・ 効率と公正の具体例を考える
 - (3) 活用すべき経済概念と活用場面
- 3 確かな学力をはぐくむ経済学習
 - (1) 授業観をどのように転換すればよいか
 - ・ 授業とは何かという問いに答える
 - ・ 疑問形の学習テーマを考える
 - (2) ツールミン図式の活用

おわりに

新学習指導要領に基づく
中学校公民的分野における
経済の考え方・教え方

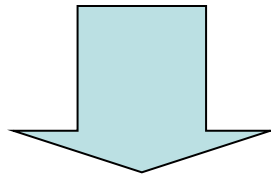
壇ふみさんのアメリカでの経験



1 新教育課程で育てようとする学力

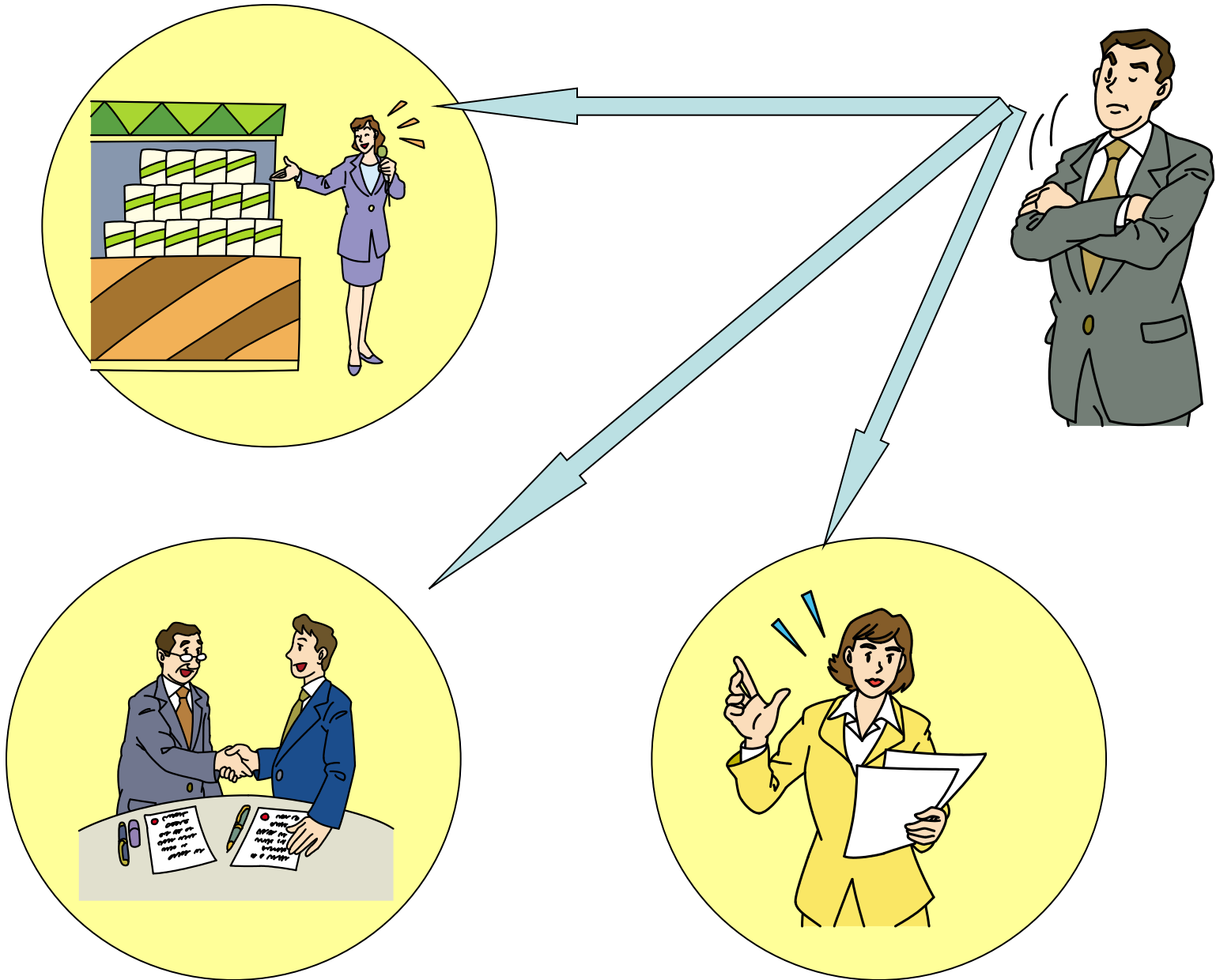
(1) 知識基盤社会と国際標準の学力

2000年EU(欧州連合)首脳会議で2010年まで欧州を「世界最強の競争力と活力を持つ知識基盤社会」に改革するというリスボン戦略を採択。「知識基盤社会」とは、新しい知識・情報・技術が、政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤となる社会。

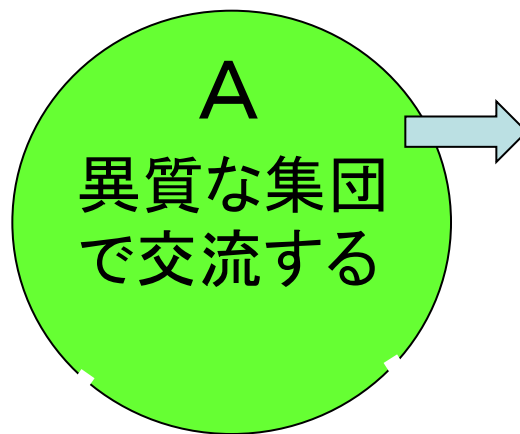


OECDは「知識基盤社会」の時代を担う子どもたちに必要な能力を「主要能力(キー・コンピテンシー)」として定義(「答申」)

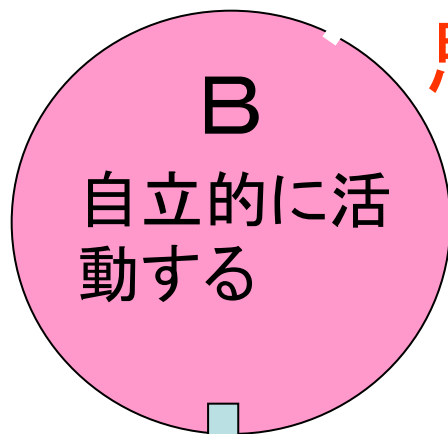
コンピテンシーの抽出



キー・コンピテンシーとは？



- a他者とうまく関わる
- b協働する
- c紛争を処理し, 解決する



- a大きな展望の中で活動する
- b人生計画や個人的プロジェクトを設計し実行する
- c自らの権利, 利害, 限界やニーズを表明する

思慮深さ

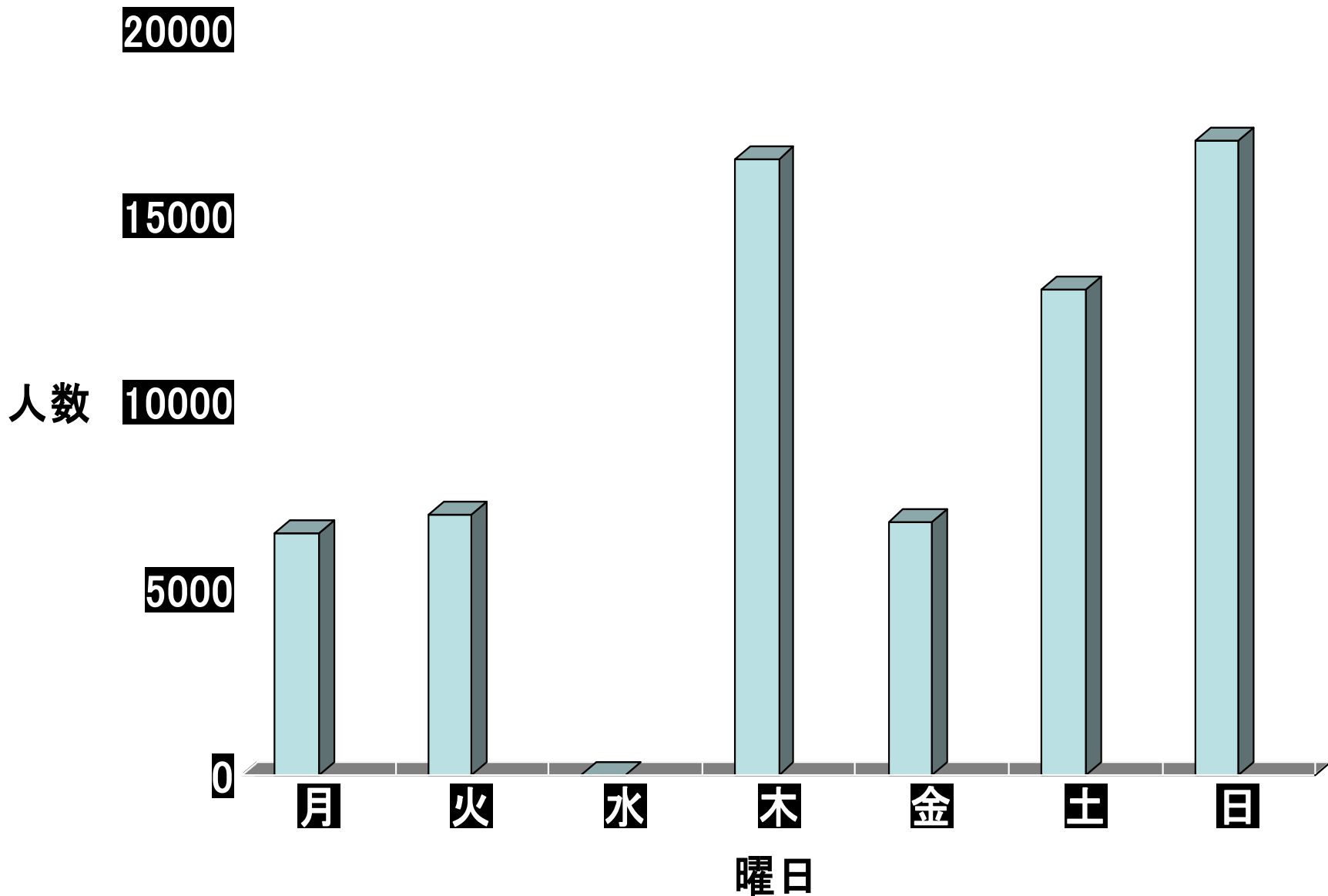


- a言語, シンボル, テキストを相互的に用いる
- b知識や情報を相互作用的に用いる
- c技術を相互作用的に用いる

読解力



これは何を表したグラフか？



1 新教育課程で育てようとする学力

(2) 新教育課程で明確にされた学力観

生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない（学校教育法30条2項）

(2) 新教育課程で明確にされた学力観

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- ② 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
- ③ 学習意欲

2 中学校社会科公民的分野

(1) 内容構成

- (1) 私たちと現代社会
 - ア 私たちが生きる……………
現代社会と文化
 - イ 現代社会をとらえる……………
見方や考え方

少子高齢化, 情報化,
グローバル化

対立と合意, 効率と公正

- (2) 私たちと経済
 - ア 市場の働きと経済……………
 - イ 国民の生活と政府……………
の役割

希少性, 選択, トレードオフ,
機会費用, 価格, 市場

市場の働きに委ねることが
難しい問題, 財源の配分

- (3) 私たちと政治
- (4) 私たちと国際社会の諸課題

(1) 内容構成

現代社会の状況を理解

対立, 合意, 効率,
公正というレンズ

現代社会をとらえ
る基本枠組み

経済領域

諸事象を概
念で捉える

政治領域

諸事象を概
念で捉える

国際領域

諸事象を概
念で捉える

持続可能な社会の形成を考える

2 中学校社会科公民的分野

(2) 社会を読み解く基本概念

○対立と合意

○効率と公正

- ・効率 → 社会全体で無駄を省く
(誰か一人の満足を増やすためには誰かの満足を減らさないといけないほど無駄がない)
- ・公正 → 一人1人が配慮されている
皆が参加して決めている
手にする機会が保障されている
結果の平等性が配慮されている

○ 公共的な判断

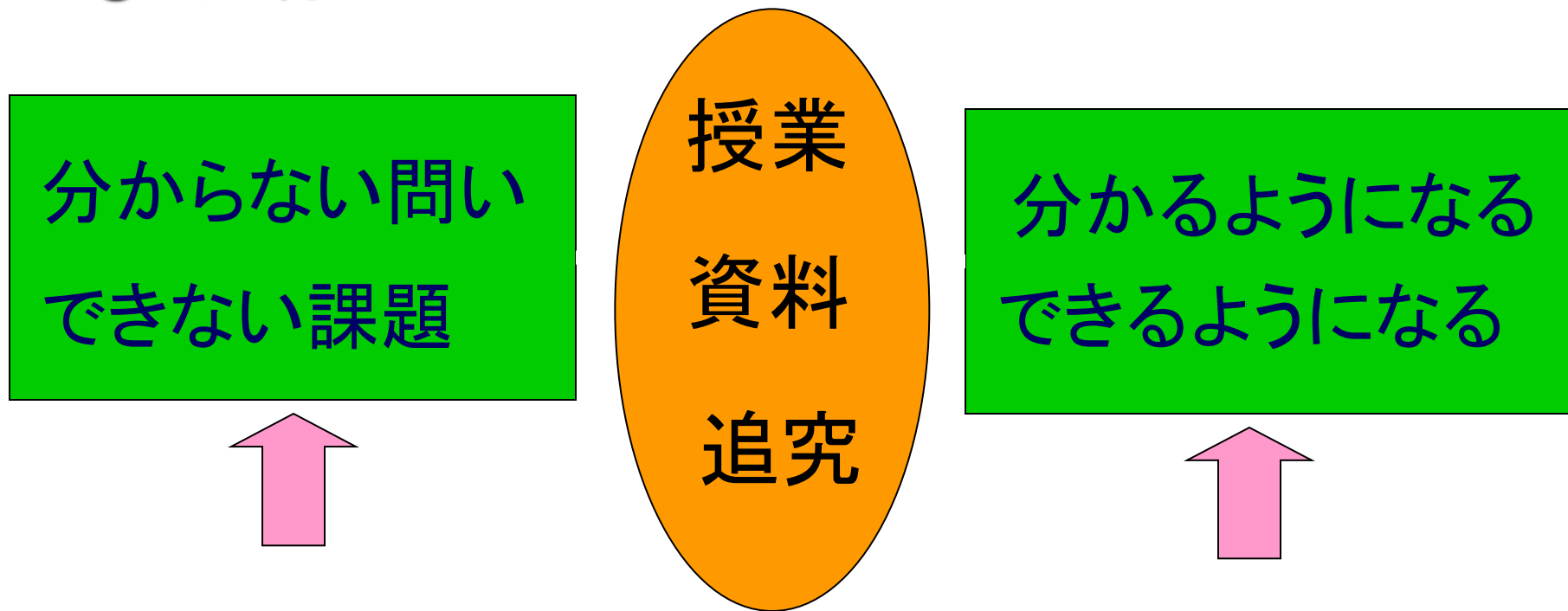
<社会全体のお金の流れを考える>

- ・金融政策
- ・財政政策

社会のどこに向けてお金が流れるようにするか
(マクロな視点でとらえる)

3 確かな学力をはぐくむ経済学習

(1) 授業観をどのように転換すればよいか



<問いと答の間をつなぐのが授業>

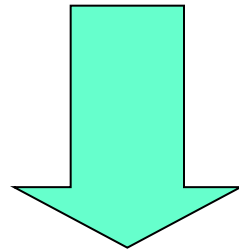
疑問形の学習テーマ

○何が分かれば、何ができればよい
のかが生徒にわかることが重要

例：二匹のタイ同じ大きさなのに値段が違うのはなぜ

3 確かな学力をはぐくむ経済学習

なぜ疑問形の学習テーマが必要か



○言語活動（解釈，説明，論述）は
問い（疑問）に対して回答を行う活
動だと考えることができる

「問い」と「答え」をつなぐのが授業

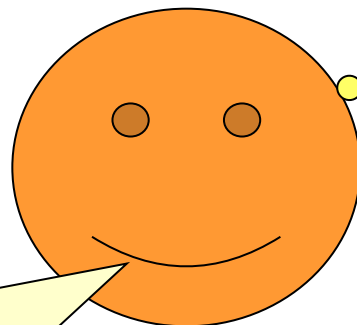
<答えに着目すると>

問いの提示



資料等

説明



読み取り・解釈

論述

<根拠(理由)をあげて意見を述べる>



①(意見)



②なぜなら(理由1)



③それに(理由2)



④また(理由3)

(2) トウールミン図式の活用

